



牧陵新聞

横浜市中区常盤町3丁目24
横浜緑ヶ丘高等学校同窓会
牧陵会 ☎045-664-9020
ホームページ (HP)
bokuryoukai.com
HP → 住所変更・お問い合わせ
HP → 会費・寄付金



会長挨拶

就任のご挨拶

会長 中村 ひとり (高26期)



このたび、伝統ある牧陵会の会長を拝命いたしました。2年後に牧陵会創立100周年を迎える節目の時期に、その任をお引き受けすることとなり、身の引き締まる思いです。私はこれまで2年間、事業部会長として同窓会活動に携わってまいりました。その中で改めて感じたのは、同窓会の価値は、人と人とのつながりにあるということです。世代を超えて母校への思いを語り合い、新たな出会いを得て、それぞれの活動を支え合う。同窓会は、卒業して終わるのではなく、生涯にわたって母校とつながることのできる貴重な場だと実感しています。

一方で、実質会員数の減少という課題があります。これは本会だけではなく、多くの高校同窓会が抱える共通の問題です。社会環境や生活様式が変化し、人との関わり方も多様になった今、従来の枠組みだけでは同窓会の魅力を十分に伝えることは難しくなっています。だからこそ、これからは「会員を増やす」という発想だけでなく、「同窓会に関わる人を増やす」という視点が大切ではないでしょうか。総会や懇親会への参加、母校や在校生への支援、クラブ活動や地域活動との連携、同窓会報を読むことなど、関わり方は人それぞれです。そうした多様なつながりを広げ、同窓会を身近に感じていただくことが、将来の実質会員の増加にもつながると考えています。その第一歩は、役員が率先して行動することです。役員同士が力を合わせ、世代を超えた交流を深め、新しい取組にも挑戦しながら、同窓会活動の魅力を発信していきたいと思っています。

2年後の牧陵会創立100周年は、これまで同窓会を支えてこられた諸先輩方への感謝を表す機会であるとともに、次の100年への新たなスタートでもあります。伝統を守りながら時代に合った同窓会の姿を模索し、一人でも多くの皆さまに「母校とつながりたい」「同窓会に関わりたい」と思っただけの牧陵会を、皆さまとともに築いてまいりたいと考えています。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

page

P1～2: 牧陵会会長挨拶・学校長挨拶、緑高情報

P4～5: 牧陵会総会の報告・活動予定

牧陵・緑のフェスティバル

P6: 同期会だより

P7: 同好会・OB だより

P8: 事務局より



学校長挨拶

校長着任のご挨拶

横浜緑ヶ丘高等学校 校長
増田 年克

このたび、横浜緑ヶ丘高等学校校長に着任いたしました増田年克です。まずは、この歴史と伝統ある学校の一員として学校運営に携わる機会を頂けましたこと、たいへん光栄に思うとともに、身の引き締まる思いであります。

本校には、日々の教育活動を支える精神として掲げられる校訓「三徳一誠」がございます。「知・仁・勇」の三徳を備え、誠の精神を貫くことによって、人格の向上を図り社会的責任を果たすことのできる人材を育てる。その理念のもと、本校の教育の真価が形作られ、この校風が受け継がれてきたものと思います。引き続き、この校訓を指針とし、すべての生徒が互いに切磋琢磨し、人間として大きく成長できる環境づくりに努めてまいります。

また、本校は神奈川県より学力向上進学重点校の指定を受けており、地域社会を牽引し、国際社会においてもリーダーとなるべき人材の育成を使命としております。これからの社会を担う生徒たちが、緑高での学びの成果を手にして、自己の可能性を広げていけるよう、探究的な学びのさらなる充実に努め、教職員一丸となってその成長を支援してまいります。

私はこれまで教育行政に携わる機会が長く、その中で、県立高校のさまざまな課題と向き合い、教育内容の充実に向けた施策に関わってきました。今後は、そうした経験を存分に生かし、横浜緑ヶ丘高校のさらなる発展に寄与できるよう全力を尽くす所存です。また、この学校が地域に根差し、信頼される学びの場としてますます輝く存在となれるよう尽力してまいります。

私は、学校というのは、生徒・保護者・地域、そして同窓会の皆様など多くの皆様の協力を得て、初めて豊かな学びの場となり得ると考えています。学校経営においては「開かれた学校づくり」を第一に目指し、皆様からの声を真摯に受け止め、双方向のコミュニケーションを重視した学校運営を心がけてまいります。そのため、私は校長室に在室している際は扉を常に開放しております。来校された際は、どうぞお気軽にお立ち寄りいただき、お話やご意見をお寄せいただければ幸いです。

結びに、同窓会の皆様にはこれからも本校を温かく支え、成長をともに見守っていただきますようお願いいたします。皆様とともに、横浜緑ヶ丘高校をより良い学校にしていけるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



退任のご挨拶

前会長 直井 ユカリ (高32期)



去る6月6日に開催された2026(令和8)年度牧陵会総会をもって会長を退任いたしました。在任中は会員の皆様方から牧陵会の運営及び事業推進に多大なるご理解とご支援を賜りましたことに心から御礼を申し上げます。

任期中には母校100周年記念事業などに携わることができ、在校生や会員の皆様の母校愛にたくさん触れた経験は私の宝物となりました。

牧陵会の役員を務めて感じたのは、「同窓の絆」が実に有意義で貴重なものだということです。かつて私もそうでしたが、会員の皆様は日頃、同窓生や牧陵会のことを意識する機会は多くはないと推察します。特に「現役世代」は日々の仕事や生活で忙しく、なかなか高校時代に思いを馳せ、友を懐かしむ余裕がないのが実情かと思います。しかし、様々な道を歩み、経験を重ねている方々と繋がることで得られるものは、自分自身の心や生活を豊かにするだけでなく仕事や趣味においても大きな財産となります。私たちには学校の同窓生にも小、中、高、大学時代の仲間がいますし、社会人となってからは同僚、上司、部下、ステークホルダーなど多くの人との関わりがあります。繋がりの濃淡は各々で異なると思いますが、歳を重ねた時に残るのは高校や大学時代の仲間が多いのではないかと感じるようになりました。特に高校は大学と異なりメンバーが固定されたクラスや趣味志向により集まった部活という強い関係性があります。会員の皆様、気軽に同期会や同窓会行事に参加してみませんか？卒業からの空白が一瞬で埋まり、高校時代の自分自身や友人に再会できます。そしてそこから新たな絆が生まれますよ！

母校は創立から100年の大きな節目を超え今年103年目に入りました。次は2028年の牧陵会創立100周年が迫っています。今年度から実行委員会を設置し記念事業を検討していきますが2年後には多くの会員の皆様と盛大に楽しくお祝いができることを願いつつ退任のごあいさつとさせていただきます。本当に有難うございました。



離任のご挨拶

前校長 坂元 久美子 (高35期)



この度、横浜栄高等学校(校長)へ異動いたしました。

緑高在職中、牧陵会の皆様には多大なご支援ご協力ご厚情を賜りました。学校の事業へご助力いただくたびに、緑高生の素晴らしさ・つながりの強さを実感しておりました。おかげさまで、生徒の学び・成長の鮮やかな瞬間に何度も立会い、いくつもの素晴らしい経験をさせていただきました。2年間という短い期間ではありましたが、中身の濃い、充実した時間でした。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

高校卒業以来、緑高との接点がほとんどなかった私が、創立100周年のタイミングで職員として勤務させていただけたのは稀有な幸運でした。記念式典・事業に携われたことで、校訓「三徳一誠」が志向するもの、緑高の歴史と各時代をひたむきに生きられた諸先輩方の思いを知ることができました。強いることも強いられることもない。個として自他ともに尊重され、自ら意思決定したことに挑戦できる。「緑高の自由」について生徒や中学生にこのように語れたのも、母校のことを自分事として再構成して考える機会をいただけたからです。微力ながら母校のために働くことができ、大変ありがたく思っております。

前任の秋山晶子先生がSSH(スーパーサイエンスハイスクール)・学力向上進学重点校という道筋を開いてくださり、学校全体で探究に取り組む機運が高まっていく中、緑高に在職できたのも幸運でした。生徒の意思を生かしながら学校のこれからを職員と考え形にしたこと、生徒が高い熱量で探究について語り、聴き入り、熱く質疑応答するのを見られたことは、とても楽しい時間でした。「探究は緑高に合うスタイル」と生徒自身が思い、各自の没頭したいことに存分に挑戦することを期待しています。

校内各所の整備として、体育館・正門・「憩いの庭」の新設等をご報告してまいりましたが、生徒会館の改修工事も3月中に完了しています。創立100周年記念事業の大項目として、築60年の建物を安全かつ新築のような外観にさせていただきました。ご支援、誠にありがとうございました。

今後とも、緑高へのご支援ご協力を何卒よろしくお願いいたします。皆さまのご健勝ご活躍を、心より祈念いたします。

2026 緑高祭

6月13、14日に緑高祭が催されました。今年のスローガンは「何やってるんですか、青春してください」。前日の雨雲も去り、昨年と同様多数のお客様を迎え、昨年にも負けない賑わいとなりました。初日は開場前から正門に100名を超える行列ができ、吹奏楽部などの知名度の高さを示していました。

体育館では吹奏楽、管弦楽、バンドの演奏。野外では飲食ブースに長蛇の列ができ、バンドやダンス、仮装大会などで賑々しく盛り上がりを見せていました。

牧陵会では校史資料室で100年史の写真展示と合わせて、クラスアルバム(中学1期から高校78期まで)をPCの大画面で公開し、幅広い卒業生が懐かしい顔を楽しく閲覧していました。また電気部OB会ではJA1ZATアマチュア無線の公開運用を行いました。



緑高祭ゲート



緑高祭ポスター



■ 着任挨拶

教頭 日永 博之

牧陵会会員の皆様、このたび4月に教頭として着任いたしました日永（ひえい）博之と申します。少し珍しい名前ではございますが、覚えていただけましたら嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。



本校は、スーパーサイエンスハイスクールに指定されており、今年で5年目を迎えます。現在、次期申請に向けた準備を進めており、教職員が一丸となり、生徒たちにより良い学びの環境を提供できるよう日々努力しております。

生徒が安心して学び、仲間とともに成長できる環境をさらに充実させるとともに、変化の激しい社会においても、適応力や主体性を発揮し未来へ羽ばたいていけるよう、責任を持って取り組んでまいります。

今後も、牧陵会の皆様とともに生徒たちの成長を支え、学校のさらなる発展を目指して努力してまいります。引き続きご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■ 退任の挨拶

前教頭 高木 祥子

横浜緑ヶ丘高等学校の教頭として過ごした2年間、牧陵会の皆様から温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。



在任中は、新体育館の竣工をはじめ、そこでの卒業式や入学式、100周年記念式典など、学校の歴史的な節目を皆さまと共に迎えることができ、大変感慨深く思っております。

緑高の生徒たちは、一見今どきの若者ですが、何事にも一生懸命です。特に「緑の探究」で試行錯誤を重ねる健気な姿には、何度も驚かされ、力をもらいました。

また、皆さまのおかげで綺麗に生まれ変わった生徒会館は、これからの生徒たちの活動を支える大切な財産です。伝統を繋ぎ、学校を支えてくださる牧陵会の皆さまの熱意には、感謝の言葉もございません。

緑高はこれからも変化を恐れず歩んでまいります。今後とも、未来へ羽ばたく生徒たちの活躍を温かく見守り、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

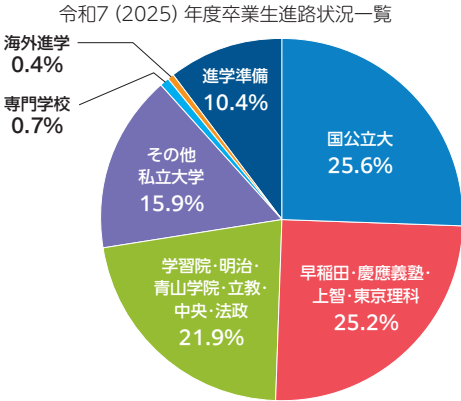
■ 横浜緑ヶ丘高校教職員異動状況

転出 (令和8年3月31日)			転入 (令和8年4月1日)		
教科等	氏 名	新任校	教科等	氏名	前任校
学校長	坂元久美子	横浜栄高等学校	学校長	増田 年克	教育局教育参事監 (学校教育担当)
教 頭	高木 祥子	座間高等学校	教 頭	日永 博之	相模原弥栄高等学校
教 諭	伊藤 理沙	横浜立野高等学校	教 諭	山下 和姫	鶴嶺高等学校
	笹野 凪	商工高等学校		門馬 舞	永谷高等学校
				三浦美都奈	平塚中等教育学校
				山本 悠佳	綾瀬高等学校

■ 進路状況一覧

卒業生の現役時における進路状況（過去3年間）

類 別		2025年度卒業生 (78期)	2024年度卒業生 (77期)	2023年度卒業生 (76期)
4 年 制 大 学	国 公 立	69	71	62
	私 立	170	161	185
	計	239	232	247
短 期 大 学		0	0	0
大 学 校		0	1	0
海 外 の 大 学 等		1	1	1
専 門 ・ 各 種 学 校 等		2	2	3
就 職		0	0	0
進 学 準 備 等		28	39	20
当 該 年 度 卒 業 生 計		270	275	271
進 学 率 (%)		89.6%	85.8%	92.6%



SSH 活動報告 科学的探究力を育む緑高生の挑戦

緑高は文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）基礎枠「開発型」の指定を受け、令和4年度から第I期5年間の研究開発に取り組んでいます。「未来の担い手として、他者と協働して課題解決に導く科学的探究力を備えた人材の育成」を目標に、生徒一人ひとりの「科学的探究力」「発信力」「協働力」「国際性」を育てています。

2025年度も多くの生徒が日本数学オリンピック、日本情報オリンピック、日本生物学オリンピック、化学グランプリなどに挑戦しました。

教室での学びにとどまらず、自ら挑戦し、多様な仲間と協働しながら成長する姿は、SSHが目指す人材像そのものです。今後も緑高生の探究と挑戦が続いていくことを期待しています。

まなびや基金県知事表彰

「神奈川県まなびや基金」は県立学校や社会教育施設のエデュケーション向上のための寄附制度です。100周年記念募金でも会員のみなさまから募金いただきありがとうございました。



このたび、高校23期の島田一さんがまなびや基金へ多額の寄附をされました。神奈川県から感謝の意を表すため、知事から感謝贈状が贈呈されました。

寄附は、横浜緑ヶ丘高等学校のエデュケーション向上のため、活用されます。

2026年度 牧陵会総会の報告

2026年(令和8)年6月6日(土)リロの会議室関内横浜スタジオ前にて牧陵会総会を開催しました。

45名(うちオンライン参加2名)の出席で、下記議題を審議し、承認されました。

【議事】

◆1. 2025年度活動報告

2025年度は、創立100周年記念式典の開催や、SNSを活用した新たな広報活動など、次世代へ繋ぐ大きな変化の年となりました。

- 創立100周年記念式典の挙行。新築の体育館にて、在校生・卒業生ら約1,200名が出席。横濱第三中からの歴史を振り返る貴重な機会となりました。
- 同期会も活発に開催されました。
- 広報・運営の見直し青年部主導でInstagramによる広報を開始しました。一方、会費減少や経費高騰への対策として、「牧陵新聞」の郵送を年1回(他1回はメール・HP掲載)へと変更。既存事業の見直しや、若い世代との交流創出を進めています。

◆2. 2025年度決算報告・監査報告

(詳細は総会資料を参照お願いします。)

- 1) 2025(令和7)年度決算報告
- 2) 2025(令和7)年度会計監査報告

2025年度決算・2026年度予算

■ 収入の部 (単位: 円)				
項 目	2025年度決算額	2025年度予算額	決算予算差額	2026年度予算額
会費収入	4,230,000	4,700,000	△ 470,000	4,300,000
寄付金収入	2,894,346	3,500,000	△ 605,654	3,000,000
緑のフェスティバルチケット収入	170,000	0	170,000	200,000
新年会収入	438,000	455,000	△ 17,000	450,000
雑収入	42,057	50,000	△ 7,943	50,000
受取利息	25,035	5,876	19,159	25,000
入会金	810,000	840,000	△ 30,000	810,000
収益合計	8,609,438	9,550,876	△ 941,438	8,835,000

■ 支出の部 (単位: 円)				
項 目	2025年度決算額	2025年度予算額	決算予算差額	2026年度予算額
総務運営費	3,370,625	2,834,000	536,625	3,173,000
会員活動費	16,665	0	16,665	135,000
同期会支援費用	200,000	200,000	0	300,000
同好会支援費用	100,000	100,000	0	120,000
事業活動費	1,222,156	1,030,000	192,156	1,140,000
広報費	3,354,852	3,333,000	21,852	3,380,000
牧陵校史資料室運営費	32,775	140,000	△ 107,225	5,000
母校活動支援金	200,000	160,000	40,000	150,000
SNS発信費用	110,844	430,000	△ 319,156	430,000
費用合計	8,607,917	8,227,000	380,917	8,833,000
収益費用差額	1,521	1,323,876	△ 1,322,355	2,000

■ 特別会計 (単位: 円)			
積立金内訳	期首残高	預金利息	期末残高
牧陵会基金積立金(横信)	10,792,508		10,792,508
記念事業積立金(横信)	2,658,613		2,658,613
活動維持積立金(横信)	1,069,259	23,082	1,092,341
活動維持積立金(浜銀)	998,260	0	998,260
合 計	15,518,640	23,082	15,541,722



◆3. 母校創立100周年事業報告

2023年に創立100周年を迎えた母校を祝うため、委員会を設置し記念募金や各種事業を実施してきました。

記念式典の開催と教育環境の整備

新体育館の工期遅れにより延期となっていた「創立100周年記念式典」を無事開催。また、多くの会員の皆様からの寄付金により、生徒の学習環境改善(教育環境整備)が図られました。

委員会の終了と今後の取り組み

100周年事業委員会は2026年3月をもって終了いたしました。残る教育環境整備事業等については、今後は学校が主体となって進めてまいります。

◆4. 2026年度活動計画

次なる100年と2026(令和8)年度の展望

母校が創立100周年記念式典を終え、次の100年へ歩みを進める中、同窓会「牧陵会」も2028年に創立100周年を迎えます。国内外の各界で活躍する多くの会員は、私たちの大きな財産です。

- 最大の課題：持続可能な組織づくり 近年、会費納入者が減少しています。同窓会として持続可能な組織を維持するため、会費収入の確保が最大の課題となっています。
- 2026年度の最重点取り組み 会員の交流や母校への寄付はもちろん、未来に向けて「若手会員の関心を高めること」を最重点とします。
- 2028年の100周年に向けた組織を立ち上げ、記念事業の準備を進めてまいります。

◆5. 100周年記念事業

本事業を通じて同窓会の意義を再認識し、持続可能な「牧陵会」を目指します。

- 愛着と帰属意識の向上：多くの会員が参加できる事業を展開し、母校と同窓会への愛着・帰属意識を高めます。
- 未来の担い手の発掘：各事業で広く参画者・応援者を募ることで、今後の牧陵会運営を支える若い世代や新たな人材の育成に繋がります。

◆総会での意見概要

質疑：高校17期 小島さん：牧陵会100周年記念事業の一つとして校歌(緑高・三中)・応援歌を収録したCDの作成を提案。往年のソノシートを懐かしむ声もあり、実行委員会での検討を依頼した。

意見：高校13期 山下さん：90周年時に整備した中庭が今は草が生い茂っている。また校舎入口の芝生広場がサッカーゴールの置き場になっており、環境の改善を求む。

→ 中村新会長より「学校に伝え、学校運営協議会等に対策を検討する」と回答。

新会長挨拶：中村ひとり新会長(高校26期)：「牧陵会会長という重責を拝命した。この2年間は事業部会を担当し皆さんと顔なじみになっている。100周年に向けてしっかりと礎を作ってまいりたい。皆様のご協力をよろしくお願いしたい。」

◆6. 2026年度役員改選

以下の通り新役員が提案され、承認されました。

役職	氏名	備考
会長	中 村 ひとり	高校26期・新任
副会長	小 林 道 昭	高校28期・継続
副会長	田 原 正 崇	高校44期・新任
総務部会長兼事務局長	小 濱 千 丈	高校31期・新任
会員部会長	砂 川 裕 美	高校46期・新任
事業部会長	船 橋 信 之	高校26期・新任
広報部会長	西 尾 匡 弘	高校33期・継続
校史資料室運営部会長	片 倉 正 一	高校23期・継続
会計監査	林 田 政 義	高校15期・継続
	美 濃 一 代	高校22期・新任
相談役	直井ユカリ (ほか)	歴代会長

● 2026 (令和8) 年度 牧陵会活動予定

2026年 (R8)	10月24日	第21回青春かながわ校歌祭 (運営幹事校：県立吉田島高等学校) 会場：南足柄市文化会館
	11月7日	牧陵・緑のフェスティバル 会場：緑ヶ丘高校
2027年 (R9)	1月 (予定)	令和9年 牧陵会新年のつどい 会場：未定

● 2025年 牧陵・緑のフェスティバル



緑高セミナー 小西さん(高校35期)



改修後の正門



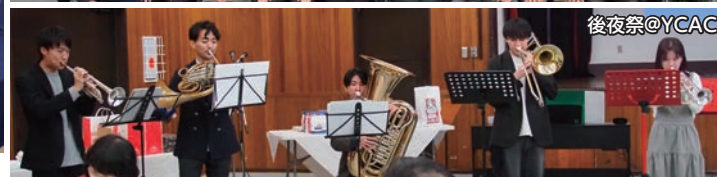
山岳部OB会「三稜会」喫茶コーナー



「緑雅展」盆栽クラブ展示



後夜祭@YCAC



後夜祭@YCAC

第26回 緑のフェスティバル

11月7日開催

今年も母校で、世代を超えた交流を

今年の「第26回 牧陵・緑のフェスティバル(ホームカミングデイ)」を**11月7日(土)**に母校で開催します。緑のフェスティバルは、卒業生が母校に集い、世代を超えて交流する牧陵会最大の恒例行事です。卒業生同士はもちろん、現役生との交流を通して、母校とのつながりを深める1日を目指しています。

昨年は秋晴れの中、多くの卒業生やご家族が来場しました。緑高セミナーでは高校35期・ガラス作家の小西潮さんによる講演が行われ、茶道部とのコラボレーションも好評でした。新体育館ではMG BIG BAND、OBOG吹奏楽団、ペドウィングスが演奏し、図書室では朗読ライブや盆栽展示・ワークショップを開催。校内ガイドツアーや山岳部OB・OGの喫茶コーナー、電気部OB会による無線デモなど、多彩な企画を通じて世代を超えた交流が広がりました。終了後の後夜祭にも100名を超える卒業生とご家族が参加し、和やかな親睦の時間となりました。

今年も同好会による展示・発表やワークショップ、現役生との交流企画などを計画中です。さらに、新体育館を活用した新たな催しも検討しています。企画への参加や展示・発表にご協力いただける方も歓迎します。

懐かしい友人との再会、新しい交流、そして変わりゆく母校との出会いが待っています。ぜひ11月7日は母校へ足をお運びください。



同期会だより

2025年度も、多くの同期会が開催されました。

■ 緑ヶ丘高校第7期同期会の報告 片瀬 潔 (高7期)

高校7期は卒業70周年と卒寿を記念し、2025年11月6日にホテルニューグランドのレストランを貸切でコース料理を楽しむという豪勢な同期会を開催出来ました。

参加者は例年並みで25名が集いました。常連に加え、全く久しぶりの顔も見られて歓談も盛り上がり、あっという間に2時間半が過ぎ去りました。



■ 高校18期同期会 (十八の会・三水会) 橘川 和夫 (高18期)

2025年10月15日に、横浜駅西口天理ビル内「北海道」にて開催しました。

本来は、昨年が喜寿でしたが、今年にずれ込みました。喜寿のお祝いとして、昨年から準備をすすめて、盛会となりました。出席者は、男性42名、女性16名、合計58名でした。



■ 高校21期同期会 小松崎 敏彰 (高21期)

75歳を迎える節目の同期会を2025年10月14日に中華街大珍楼にて開催しました。お元気な小澤先生も参加いただき61人参加で、久しぶりに再会しました。元気な笑顔に囲まれ思い出話に花を咲かせました。



■ 高校24期同期会 浅野 弘 (高24期)

2025年11月30日、晴天に恵まれ横浜駅近くのグレースバリーにて同期会を開催しました。牧陵会から直井会長ならびに池田相談役にご臨席賜り、私たちより10歳年上の恩師の石渡先生も益々お元気で駆けつけてくださいました。

今年度72歳となる同期の出席者は90名、初めて同期会に出席してくれて卒業以来53年振りに再会できた友もいて、名札で確認しつつ高校時代の面影に辿りついたりする姿も見受けられました。昔話で盛り上がり、仲間同士で近況を語り合って、あっという間の3時間でした。



■ 高26期 古希同期会 盛大に開催 栗田 裕 (高26期)

3月20日に古希同期会を横浜YCACで開催し、136名が参加しました。同期会としては2016年の還暦同期会以来、10年ぶりの開催です。

当日はまず母校見学会を行い、72名が新体育館などを見学し、懐かしい校舎を巡りながら青春時代を振り返りました。

その後、会場を横浜YCACに移し、古希同期会がスタート。10年ぶりの再会に最初は少し戸惑う姿も見られましたが、ひとたび会話が始めると、高校時代の思い出が次々とよみがえり、あっという間に当時の仲間に戻っていました。



■ 卒業20年を迎えるタイミングで同窓会開催 遠堂 聖弥 (高58期)

高校58期は卒業20周年を記念し、5月23日に崎陽軒本店5階(マンダリン)にて72名が集まりました。

最初は緊張した面持ちでしたが、恩師からのビデオメッセージに会場が大いに盛り上がりしました。

後半になる頃には、クラスや部活の枠を超え、互いの近況を報告し合うなど和やかな雰囲気では進行し、最後に幹事メンバーの一人から10年後の再開を約束して会は終了となりました。



若い世代では高校67期が卒業後10年、高校73期が卒業5周年メモリアル同期会を開催しました。

■ 73期 卒業5年メモリアル 佐藤 颯 (高73期)

2026年2月、高校73期卒業後5年の同期会を、グランデバリー ハマボールイース店にて開催致しました。総勢約130名が参加し、クラス担任をはじめとする先生方にも6名ご参加いただきました。

卒業して5年、成人してから早くも3年経ち、大学に進まれた方は就職される等、少し大人になった同期との再会でした。





同好会・OB だより

■ ボウリング同好会活動報告

中山 敏章 (高22期)

4月3日(金)に第36回大会が上大岡のアカフーボウルで行われ、高校15期林博さんが優勝とベストグロス賞、第2位が高校29期稲村守彦さんでした。大会直前に体調不良者が続出して参加者が10名と少なかったのですが、久しぶりのメンバーの参加もあり、一投ごとに歓声が上がっていました。終了後は、いつもの会場で懇親会を行いました。次回は9月開催予定です。



■ OBORG吹奏楽団第4回定期演奏会 佐藤 颯 (高73期)

6月27日(土)、金沢公会堂にて第4回定期演奏会を開催いたしました。当日は台風予報の荒天でしたが、200名を超えるお客様にご来場いただき、誠にありがとうございました。

今回のテーマは「大切なもの」でした。皆さんそれぞれの大切なものを思い出すきっかけとなっていたら幸いです。

本年9月には他楽団との合同演奏会もございますので、ぜひ今後の活動にもご注目ください!



■ 牧陵管弦楽団奏者募集のお知らせ 大濱 真央 (高73期)

2025年11月に横浜緑ヶ丘高校OB・OGによるアマチュアオーケストラ「牧陵管弦楽団」を発足しました。現在、管弦楽部、吹奏楽部のOB・OG、元教員など約30名が参加しています。当団の中心メンバーは、コロナ禍で演奏会中止を余儀なくされた高73期の管弦楽部卒業生です。2027年3月には、当時できなかったプログラムを再現した演奏会を予定しています。



■ 牧陵合唱団へのお誘い

松原 裕介 (高46期)

牧陵合唱団は緑高卒業生を中心に組織された混声合唱団です。現在は15名で構成し、月2回(日曜日13:00~15:30)、磯子区の横浜市社会教育コーナーで練習を行っています。

卒業生の交流の場としてもぜひ幅広い年代で活動していきたいと考えていますので、一人でも多くの方に加わっていただきたいと思っています。



■ 牧陵ゴルフコンペのご報告

山下 東洋彦 (高13期)

……少々満開には早かったものの……

3月17日に第17回ゴルフコンペは16名の参加を得て大厚木カントリークラブ桜コースで開催。一昨年春以来2度目のコースでの開催ですが、温暖化の進行を勘案、桜満開の中でのプレーだった前回より若干日程を前倒しにして計画したものの流石に早すぎた感無きにしも非ずでした。とはいえ好天に恵まれ楽しい一時を過ごすことが出来ました。



■ 盆栽クラブ 活動報告

小松崎 敏彰 (高21期)

3月7日、牧陵会事務所に盆栽クラブの例会を行いました。当日は10名を超える参加があり、高73期の3人も入門?し平均年齢も若くなりました。メンバーは全員意欲満々で、世代差は感じられません。

今回は、黒松がテーマで、針金かけで樹形を作っていく過程を自身で初めての挑戦でした。新人は基本の木、真柏を使い、作品を仕上げました。



■ 山岳部OB・OG会

直井 ユカリ (高32期)

山岳部OB・OG会「横浜三稜会」の年次例会が4月18日に横浜中華街「清香園」で開催されました。今年度は高校17期から38期まで24人が集い、近況を報告し合いました。

翌17日(日)には定例山行として有志7人で箱根・明神ヶ岳に登山。今年度の登山メンバーは私が高校1年生の時の同期生1人、2年生1人、3年生1人、高校生の面倒を見てくれた大学生3人が偶然に揃い、50年前にタイムスリップした感覚でした。

残念ながら母校では山岳部は廃部になりましたが、最近はや若い方に登山愛好者が増えていますので、三稜会としては山岳部を復活させ、絶滅危惧OB・OG会から脱却したいという思いです。





事務局より

● 牧陵新聞のメール配信 登録開始について

総務・会員部会

牧陵会では、皆様への情報提供・共有するツールとして、紙媒体の「新聞」発行を中心に広報を行い電子メディアの「Web・ホームページ」「Facebook」等も併せて活動をしてまいりました。

総会でご報告のとおり近年の諸経費と郵送料の増加の影響を受け、紙媒体から電子メディアの運用に軸足を移していくこととなりました。

牧陵会は歴史ある同窓会であるため幅広い年代の会員の皆様がおられます。さめ細かい情報提供のあり方を模索しております。

新聞の配布について

新聞の紙面はホームページに掲載し、インターネットの環境から閲覧可能となっています。

賛同いただける方への新聞(紙媒体)の配送を停止し、メール配信でURLリンクを知らせる方法に変更します。

賛同いただける方にメールアドレスを登録いただくページを設置しました。すでにメールアドレスをお届けいただいている方も、配送停止の確認とメールの本人確認のため、住所、氏名等の入力をお願いします。

https://bokuryoukai.com/request_delivery/



電子メディア (Instagram) による発信について

「Instagram」, 「note」を用いた情報発信を開始しました。同期友人方々と情報シェアーいただけたらと思います。

他にも様々なメディアにつきましても、各世代への情報発信・共有の効果的な活用を検討してまいります。また、新聞の発行頻度や形式も改善を図ってまいります。皆様の積極的なご参加・ご支援をよろしくお願いいたします。

アクセス情報		
ホームページ	Facebook	Instagram



Project 2500

プロジェクト2500 横浜緑ヶ丘高校の未来のために

牧陵会会費納入の現状について (2026年3月末現在)

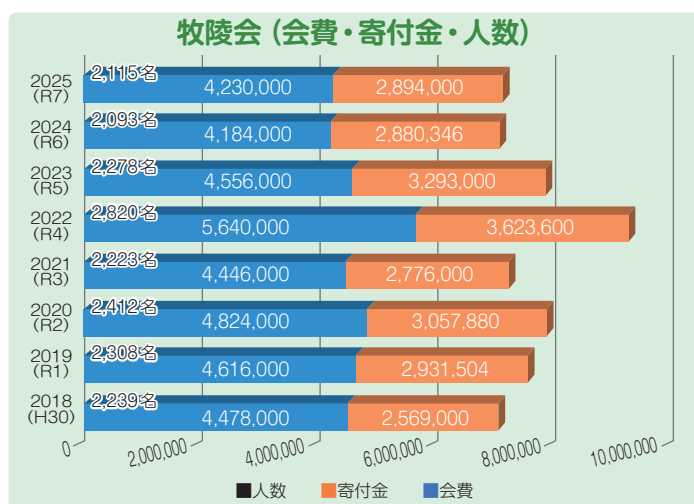
会員の皆様のご協力により、対予算比90.0%の納入をいただきました。納入人数は2,115名で前年度から微増(前年2,092名)、金額は46,000円の増加となっており、寄付金も総額2,890,346円で前年とほぼ同じでした。これまでの減少傾向から立ち直る第一歩です。

牧陵会100周年に向けて、プロジェクト2500の目標人数2,500名を達成できるよう皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

■会費納入はホームページから「PayPal、クレジットカード支払い」や「銀行振込」も可能となっていますので、2026年度も皆様の更なるご協力を切にお願い致します。

▶ 会費・寄付金のお支払い方法

HP → 会費・寄付金 → キャッシュレス決済



2026年度 メモリアル同期会

支援金対象期のご案内

会員部会

◆ 同期会開催を計画しましょう (活動支援金を支給)

牧陵会の基本は親睦にあり、会員同士のつながりは同期会でのつながりが基本となります。会員の増加と会員情報の整備を目的として、牧陵会では同期会開催について支援金を支給しています。

● 支援金：①同期会：1万円、②メモリアル同期会：5万円、③敬老感謝同期会：2万円です。

▶ 卒業期：HP→住所変更・お問い合わせ→

卒業期 (卒業年) 早見表を参照してください。

◆ 牧陵会の同期会開催に対する活動支援金の繰越認容について

3年間のコロナ禍で開催できなかったメモリアル同期会においても、繰越して支援できることとなっています。

▶ 詳細お問合せ：HP→住所変更・お問い合わせ。



① 同期会 (1万円支給)

② メモリアル同期会 支援対象期 (5万円支給)

2026年1月現在

	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
卒業後2年 成人式メモリアル	77期 R7年卒	78期 R8年卒	79期 R9年卒	80期 R10年卒	81期 R11年卒	82期 R12年卒
卒業後5年 メモリアル	74期 R4年卒	75期 R5年卒	76期 R6年卒	77期 R7年卒	78期 R8年卒	79期 R9年卒
卒業後10年 メモリアル	69期 H29年卒	70期 H30年卒	71期 H31年卒	72期 R2年卒	73期 R3年卒	74期 R4年卒
卒業後20年 メモリアル	59期 H19年卒	60期 H20年卒	61期 H21年卒	62期 H22年卒	63期 H23年卒	64期 H24年卒
卒業後30年 メモリアル	49期 H9年卒	50期 H10年卒	51期 H11年卒	52期 H12年卒	53期 H13年卒	54期 H14年卒
卒業後41年 還暦記念メモリアル	37期 S60年卒	38期 S61年卒	39期 S62年卒	40期 S63年卒	41期 H1年卒	42期 H2年卒

③ 敬老感謝同期会 支援対象期 (2万円支給)

	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
古希 (70歳) 卒業後51年	27期 S50年卒	28期 S51年卒	29期 S52年卒	30期 S53年卒	31期 S54年卒	32期 S55年卒
喜寿 (77歳) 卒業後58年	20期 S43年卒	21期 S44年卒	22期 S45年卒	23期 S46年卒	24期 S47年卒	25期 S48年卒
米寿 (88歳) 卒業後69年	9期 S32年卒	10期 S33年卒	11期 S34年卒	12期 S35年卒	13期 S36年卒	14期 S37年卒

住所変更お届けのお願い

2025年8月の牧陵新聞配布に244通 (配布総数約15,154通) の宛先不明による返送が発生しております。皆様からの住所変更のお届けが多くなり返送数は若干減少しておりますが、転勤などで住所が変わる30代世代が宛先不明になることが多いようです。新聞は皆様と結ぶ大きなツールです。住所の変更は住居表示変更も含めお知らせいただければ幸いです。

▶ 住所変更お届け

・HP → 住所変更・お問い合わせ

または、FAXにて牧陵会事務所へ連絡をお願いします。事務所の開所日は、「火、木曜日の10～16時」と限られておりますので、ご協力をお願いします。



牧陵会事務所の場所・連絡先

関内駅北口から海側(東)に徒歩200m「銀だこ」のビルです。

TEL/FAX: 045-664-9020

メー ル: HP→住所変更・お問い合わせ

H P: <https://bokuryoukai.com>

住 所: 〒231-0014 横浜市中区常盤町3丁目24 サンビル6階C号

事務局の業務: 火、木曜日の10:00から16:00とさせていただきます。

